

和歌山だよいい

令和2年 7月号
(2020)



紀州加太浦「採燈大護摩供（さいとうだいごまく）」（和歌山市）

『「葛城修験(かつらぎしゅげん)―里人とともに守り伝える修験道はじまりの地』が令和2年度の日本遺産に認定されました。県内で7つめのストーリーとなります。(詳しくは2～3P)

修験道の開祖、役行者(えんのぎょうじゃ)が葛城の地に納めた法華経8巻28品のうち、最初の経塚(序品窟(じょほんくつ))は、山岳修行を行う修験道には珍しく、和歌山市加太沖に浮かぶ友ヶ島4島の虎島にあります。

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2～P8
3. お知らせ…………… P8～P14
4. ふるさと歳時記…………… P15



再生

世界中に新型コロナウイルス感染症の猛威が吹き荒れ、和歌山県も大変な影響を受け、今までうまくいきそうになっていたものが次々と打撃を受け、ここからの再生が大きな課題となりました。単にコロナの予防だけをごんばればよいというわけではありません。

それではどうやって再生をしていったらいいでしょう。

まず、コロナの収束を期待しつつ耐えるということです。このため、県では、国の施策も活用しながら、独自の支援策を広範に展開しているところです。その中でも、どん底なのは観光業ですが、何年か後には必ず日本にまた行ってみようということになります。その時、行き先は和歌山だというように思ってもらえるように我々の資産に“みがき”をかけ、PR をしておくことです。また、ずっと進めてきたインフラの整備なども、こういう時期だからこそ急いでおくべきでしょう。

第2に未来のための投資です。ロケット発射場、IR の実現、ワーケーションなど、日本の中でも一番着々と進行しているのが、実は和歌山です。これらの投資による需要と雇用創出が、コロナで痛めつけられた和歌山県を盛り返す材料になってくれることが期待されます。これらばかりでなく、各企業が取り組んできた技術開発や、経営革新、スマート農業への投資なども、和歌山県の栄養となるはずです。

第3はコロナ後の新世界です。コロナ対策であれだけ進まなかったテレワークが一挙に進みました。オンライン取引も配達サービスも飛躍的に伸びました。おそらく東京などの大都市のあんな過密で高コストの所に、すべての人材を集める愚が意識されるようになるでしょう。製造過程は、すべて中国など外国へという流れも国内へとより戻しがあるでしょう。そういった時に、この新世界に和歌山がいかに適応してチャンスをもものにできるか、これから正念場です。

コロナと戦うのと同じように困難な道のりですが、うまく歩めば、中々よい未来が待っているかもしれません。



6/30 記者会見室にて

和歌山県知事 仁坂吉伸

● 『葛城修験』が日本遺産に認定されました

令和2年度の日本遺産として、本県に関わりのある2つのストーリー『「葛城修験」—里人とともに守り伝える修験道はじまりの地』と『女性とともに今に息づく女人高野〜時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地〜』が認定されました。



修験道の開祖 役行者



役行者が法華経を納めた経塚「葛城28宿」位置図(上)と一覧表(下)

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定する制度で、平成27年に創設されており、新規認定の募集については、今年度の募集をもって当面最後とされています。

本県では平成28年の「鯨とともに生きる」を皮切りに、5年連続で認定を受けており、今回で認定ストーリーの合計が7件になりました。

「葛城」は、大阪と和歌山、奈良の府県境を走る和泉山脈、金剛山地ら総延長112kmに及ぶ峰々一帯を指し、修験道の開祖である役行者(えんのぎょうじゃ)が最初に修行を積んだ地といわれています。この地には、役行者が法華経8巻28品を1品ずつ埋納したと伝えられており、その法華経が納められた1~28番の経塚と、滝や巨石、寺社や祠などを巡って行う修行や行場を総称して「葛城修験」と

番号	経塚の名称	所在地
1	友ヶ島 序品窟	和歌山市
2	神福寺跡 方便品	大阪府泉南郡岬町
3	大福山 譬喻品 雲山峰 譬喻品	和歌山市
4	さくら地蔵 信解品	大阪府阪南市
5	倉谷山 薬草喻品	紀の川市
6	志野峠 授記品	紀の川市
7	中津川 化城喻品	紀の川市
8	大鳴山七宝瀧寺鈴杵ヶ嶽 五百弟子受記品	大阪府泉佐野市
9	嶺の龍王 授学無学人記品	紀の川市
10	大威徳寺 法師品	大阪府岸和田市
11	七越峠経塚山 見宝塔品	大阪府和泉市
12	護摩のたわ朴留 堤婆達多品	かつらぎ町
13	向い多和 勸持品	かつらぎ町
14	南葛城山鏡宿 安楽行品 光滝寺仏徳多和 安楽行品	橋本市
15	岩湧山 従地湧出品	大阪府河内長野市
16	流谷金剛童子 如来寿量品	大阪府河内長野市
17	天見不動 分別功德品	大阪府河内長野市
18	岩瀬経塚山 随喜功德品	大阪府河内長野市
19	神福山 法師功德品	奈良県五條市
20	石寺跡 常不軽菩薩品	奈良県御所市
21	金剛山 如来神力品	奈良県御所市
22	水越多和 囑累品	奈良県御所市
23	俱尸羅 薬王菩薩本事品	奈良県御所市
24	平石峠 妙音菩薩品	大阪府南河内郡河南町
25	高貴寺香華畑 観世音菩薩普門品	大阪府南河内郡河南町
26	二上山 陀羅尼品	奈良県葛城市
27	逢坂 妙莊嚴王本事品	奈良県香芝市
28	亀の尾宿 普賢菩薩勸発品 明神山 普賢菩薩勸発品	大阪府柏原市 奈良県北葛城郡王寺町

呼ばれています。

最初の経塚である「序品窟（じょほんくつ）」が和歌山市加太沖に浮かぶ友ヶ島4島のうちの虎島にあり、葛城修験で最も重要な儀式「葛城灌頂（かつらぎかんじょう）」が行われる行者堂が、紀の川市中津川にある他、根来寺や粉河寺なども葛城修験とゆかりが深く、対象地域である和歌山市、紀の川市、岩出市、橋本市、かつらぎ町の人々の信仰や生活に密接に関わるとともに、今も行者達が訪れる場所となっています。



「五鬼」によって守られてきた中津川行者堂

●『女人高野』が日本遺産に認定されました

「女人高野」は、弘法大師・空海が弘仁7年（816）に高野山を開創した当初から、修行者を律するため「女人結界」を定めたことにより、明治時代にこの結界が解かれるまで千有余年の間、高野山に入れない女性達の空海に祈りを届けたいという願いを聞いていた4つのお寺のことです。

本県には、空海の母である玉依御前（たまよりごぜん）が滞在し、本尊としていた弥勒菩薩に化身したという信仰から女人高野と呼ばれる万年山慈尊院（九度山町）と、慈尊院からの町石道を登り切った女人結界に建てられたお堂の高野山金剛峯寺女人堂（高野町）があります。

結界が解けた後も、身内の冥福を祈り、明日の安らぎを願い声を聞き届けてきた女人高野には、今も安産、授乳、育児や乳がん平癒などを願う多くの女性が参詣しています。

県では、これらの地域において、人々が大切に守り伝えてきたことや癒やしの地であること等、歴史的な背景に根差したそれぞれの価値を、この日本遺産の認定を契機として、より多くの方々に発信し、多くのお客様にお越しいただけるよう、関係市町及び観光関係団体等と力を合わせ、受け入れ体制の整備等に取り組んでまいります。

【和歌山県内の日本遺産】

認定年度	所在自治体（和歌山県内のみ抜粋）	タイトル
平成28年	新宮市、那智勝浦町、太地町、串本町	鯨とともに生きる
平成29年	和歌山市、海南市、湯浅町	絶景の宝庫 和歌の浦 「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅
平成30年	広川町	「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～
令和元年	那智勝浦町、和歌山市、紀の川市	1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～
令和2年	和歌山市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町、橋本市、高野町、九度山町	「葛城修験」－里人とともに守り伝える修験道はじまりの地 女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～



「九度山」の地名は、高野山の空海が、母のいた慈尊院に月に九度は通ったことが由来といわれています

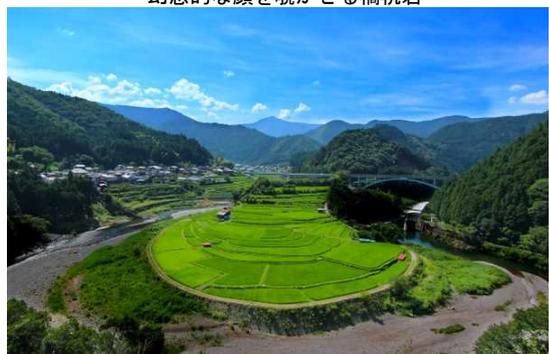
●「蘇りの地、わかやま」キャンペーン実施中！



真っ白な砂浜が広がる白良浜



幻想的な顔を覗かせる橋杭岩



生命力に溢れる緑に満ちたあらぎ島



古から人々の祈りが捧げられてきた壇上伽藍

新型コロナウイルスに関する活動制限が少しずつ緩和され、ようやく県外のお客様を和歌山にお迎えできる日がやってきました。

和歌山の輝く太陽と緑豊かな自然は、コロナで疲れた心身を癒やします。澄みわたる海、真っ白な砂浜、豊かな森、静かに水を湛える清流、また、大地の営みが作り上げてきた奇岩や巨石など、自然を楽しみリフレッシュするもよし、天空の聖地「高野山」や自然崇拜の地「熊野」で祈り、聖地のパワーを感じるもよし、はたまた、湯量豊富な温泉につかり、山海のグルメを味わうもよし、和歌山の楽しみ方はたくさんあります。

長期間にわたる外出の自粛やイベントの中止・開催制限、商業施設の休業など、閉塞感が世の中を覆い、疲れを溜めておられる方もたくさんいらっしゃると思います。是非、古からの「蘇りの地、わかやま」で、現在の沈滞ムードから抜け出し、リフレッシュを図ってはいかがでしょうか。

そんな皆さんに楽しんで県内を周遊していただくよう、県では現在、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンを実施中です。先日、特設サイトをオープンしましたので、御覧いただければと思います。

キャンペーンの特別企画として、県内各地の観光スポットにスタンプを設置した『「わかやまの休日」2nd スタンプラリー』、日本書紀の編纂1300年を契機に、本県ゆかりの古事記や日本書紀の関連スポットを巡る『「わかやま記紀の旅」周遊スタンプラリー』、サイクリストに本県が誇る旅とサイクリングをお楽しみいただく『WAKAYAMA 800 モバイルスタンプラリー』の3つを御用意しています。

今後も新たな特別企画を計画していますので、開放的な気持ちになれるスポットが盛りだくさんの「蘇りの地、わかやま」を訪れ、心身ともにリフレッシュしてください。

【「蘇りの地、わかやま」キャンペーン特設サイト】

○URL : <http://www.wakayama-kanko.or.jp/information/yomigaerinochi/>

●県内初の木質バイオマス発電所が稼働

6月10日、上富田町生馬において県内初となる木質バイオマス発電所が稼働しました。

「バイオマス」とは、再生可能な生物由来の有機性資源（化石燃料は除く）のことで、木質バイオマス発電所では、間伐材等を燃料とし、ボイラーで水蒸気を発生させ、タービンを回して発電を行います。



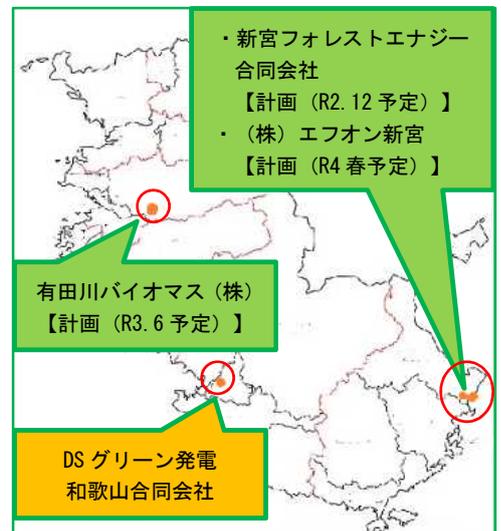
いよいよ稼働の日を迎えた木質バイオマス発電所

県では、平成24年に再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が一定価格で買い取ることを定めた「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」がスタートしたことを背景に、新たな木材需要を創出し、林業全体の活性化につながるとして、平成28年度から、燃料用原木の運搬費の補助や燃料原木購入資金に係る利子補給など、木質バイオマス発電所立地への支援制度を創設し、その誘致に取り組んできました。

従来、間伐材は、搬出コストの関係からその多くが山林に残されてきました。木質バイオマス発電所の稼働を機に間伐材が有効に利用されれば、間伐や搬出が促進され、適切な森林管理が進み、林業が活性化につながります。さらに、発電所の設置による雇用も生み出されます。

地域の期待も高まっており、この度の発電所の稼働には、田辺・西牟婁地域の森林組合や素材生産事業者の方々から、誘致に向けた機運の醸成や燃料となる原木の確保など、多くの協力をいただきました。

現在、県内では、新宮市と有田川町においても同様の取組が進められており、県では今後も『紀州・木の国』の健全な山づくりや地域活性化に役立つ木質バイオマス発電の誘致を積極的に進めてまいりたいと考えています。



県内4か所で取組が進められています

【発電所概要】

- ・会社名 DSグリーン発電和歌山合同会社
- ・所在地 西牟婁郡上富田町生馬317-42
- ・発電規模 発電端出力 6,800kW (送電端出力 6,000kW)
想定年間送電量 48百万kWh (約13,000世帯分)
- ・運営会社 グリーンサーマル和歌山株式会社
要員 12名 (内地元雇用 11名)
- ・年間燃料使用量 76,000トン (未利用材 42,000トン、一般材 23,000トン、PKS 11,000トン)

●第19回わかやま環境賞を授与しました



お父さんパンダの永明も元気です

本県では、平成14年から県民の皆さんに自主的に環境保全に関する取組を行ってもらいたいと考え、環境保全に関する実践活動が他の模範となる団体や個人を「わかやま環境賞」として賞し、その活動事例を県民の皆さんに紹介しています。

第19回となる今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため表彰式を開催せず、直接、受賞者の方々に授与する形となりましたが、優れた環境

保全活動を実践された方々と活動内容をここに御紹介いたします。

レジ袋の有料化など、環境への意識がますます高まりをみせていますが、受賞者の皆さんのような、日々の地道な取組が美しい故郷を子供達の世代へと引き継ぐことにつながると考えます。

<わかやま環境大賞>

受賞者：株式会社アワーズ アドベンチャーワールド（白浜町）

功績概要：草食動物の糞を原料とする堆肥の生産や、パーク内で発生した汚水の浄化による再利用など、26年にわたって様々な環境保全活動を行い、持続可能な循環型パーク作りに取り組んでいる。

<わかやま環境賞>

受賞者：S I L（エス・アイ・エル）（有田川町）

功績概要：廃棄予定の木製パレットを家具等にアップサイクルする活動を行い、資源の有効活用及び廃棄物の削減に貢献している。

受賞者：あさり姫プロジェクト（和歌山市）

功績概要：地元の小学生とともに、和歌の浦干潟でアサリの保護活動を行うことにより、アサリ資源の復活を目指すとともに、子供達に環境学習の機会を提供している。

受賞者：和歌山市立西脇小学校（和歌山市）

功績概要：34年にわたって全校児童による磯の浦清掃活動を継続的に行うなど、地域の環境保全活動に積極的に取り組んでいる。

<特別賞>

受賞者：もっとの会（有田市）

功績概要：13年にわたって有田川河口の清掃活動を親子で行うことにより、海へのゴミの流出を防止するとともに、子供達に環境学習の機会を提供している。

●「隠れ里“嵯峨谷”を未来につなぐ”架け橋”プロジェクト」が過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業（総務省）に選ばれました

令和2年度の過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業（総務省）に、本県から橋本市の「隠れ里^{さがたに}“嵯峨谷”を未来につなぐ“架け橋”プロジェクト」が採択されました。

この制度は、基幹集落とその周辺の集落でつくられる「集落ネットワーク圏」において、住民主体による「暮らし」を支える生活支援機能を確保しながら、地域産業を振興するための「なりわい」を創出する活動を支援するものです。

嵯峨谷生活圏では、最新型ドローンを活用し、農業労働力の軽減や災害時のライフラインの維持・整備を図るとともに、関係人口創出による担い手の確保や、地域内外の交流促進、伝統文化の継承に取り組み、将来にわたり持続可能な生活圏の形成を目指します。

担い手の確保としては、「嵯峨谷サポーターズ」を結成し、地域活動の担い手となる仲間の募集や、柿の収穫や稲刈りなどの農作業の体験イベント化に取り組みます。また、特産品を提供するカフェスペースの開設や移住者の受け入れ体制を整備して交流促進を図るとともに、県無形民俗文化財である「嵯峨谷の神踊り（こおどり）」の譜面化・映像化により、伝統文化の保存継承に努めます。

なお、当事業は、本県が生活圏を単位とした過疎地域再生・活性化支援制度の創設を国に提案し、平成24年度から制度化されたもので、今回を含め、県内で23生活圏25プロジェクトが採択されています。



棚田が広がる集落内の風景



「嵯峨谷の神踊り」の様子

●みかんの収穫量16年連続日本一！

先ごろ、農林水産省から令和元年産の温州みかんの収穫量が発表され、先月号でお知らせいたしました柿に続き、和歌山県は16年連続全国1位に輝きました。

温州みかんについては、厳選出荷等の高品質生産の取組を進めてきた結果、平成30年産みかんにお



みかん畑の風景

今月の和歌山県政トピックス



さくさくとした食感の新品種「はるき」

また、昨年2月の「下津蔵出しみかんシステム」の日本農業遺産認定に続けと、今年6月8日には、県や有田地域の各市町、農協等により「有田みかん地域農業遺産推進協議会」を設立し、「有田みかんシステム」の農業遺産認定をめざし取り組んでいるところです。

今後一層、発信力の強化とともに、高品質生産に取り組み、全国の皆さんに和歌山のおいしい恵をお届けしたいと思えます。

いて、「収穫量」＋「産出額」日本一の2冠を獲得しており、現在、これに「販売単価」を加えた日本一3冠をめざしているところです。

また昨年、その他の柑橘類では、温州みかんの時期の後の3月に例年出荷が可能な新品種「はるき」を開発しました。春以降も収益を確保できるよう、現在、この品種の産地化に取り組んでいます。

お知らせ

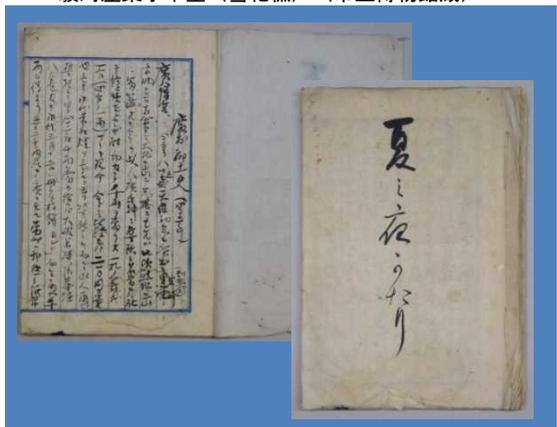
●Webシンポジウム「もようがたり」



宮田彩加 鳥流水図（県立近代美術館蔵）



駿河屋菓子木型（雪花糕）（市立博物館蔵）



夏の夜かたり（稲むらの火の館（広川町）蔵）

本年の5～6月、県立近代美術館では、県立紀伊風土記の丘、県立博物館、市立博物館、県立自然博物館の協力を得て、考古資料、仏教絵画、老舗和菓子店の菓子木型、魚類図譜や標本など、ジャンルを超えたさまざまな作品・資料により模様（文様）の世界を紹介する企画展「もようづくし」を開催しました。

この期間中、各施設の学芸員が集まり、様々な切り口で模様（文様）をテーマにお話を展開する「シンポジウム「もようがたり」」を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の関係で中止としました。

その後もこれらの作品の魅力をお届けできる方法はないかと検討を重ねていたところ、この度、和歌山県立近代美術館公式YouTubeチャンネルにおいて「Webシンポジウム『もようがたり』」として公開できることとなりました。

各館の専門家による解説等により、更に魅力を増すこれらの作品を時間の許すまで御覧いただきました

いと思います。

○シンポジウム「もようがたり」 URL : <https://bit.ly/momaw20200623>

●濱口梧陵の生誕200年を記念して

県立文書館では、過去の和歌山を記録した写真や古文書などの貴重な歴史資料を「和歌山県歴史資料アーカイブ」として平成30年12月から公開しています。

この度、令和2年6月15日が濱口梧陵の生誕200年にあたることにちなんで、梧陵翁ゆかりの「渋谷家文書」を当アーカイブにおいて公開しました。

「渋谷家文書」は、旧有田郡広村（現広川町広）の渋谷家に伝わった23点の文書で、特に、渋谷伝八（1840～1910）が明治42年（1909）に執筆した「夏の夜かたり」には、梧陵翁らが広村堤防の建設にあたり、その敷地を地震や津波で壊れた家屋の廃棄場所としたとの記述があり、専門家の注目が集まる文書となっています。

Webサイトの御活用により和歌山ゆかりの文化芸術、歴史に触れていただければと思います。

○和歌山県歴史資料アーカイブ

URL : <https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/monjyo/archive/index.html>

一方、和歌山県立博物館では、7月18日から8月23日まで、夏休みの企画展として「生誕200年記念 稲むらの火 濱口梧陵」を開催します。

「稲むらの火」で有名な濱口梧陵の事績を紹介し、同時に、梧陵に大きな影響を与えた祖父・灌圃（^{かんぼ}1778～1837）や菊地海荘（1799～1881）ゆかりの資料も展示します。併せて、県立博物館を中心に行っている地域に眠る「災害の記憶」と文化遺産を発掘・共有・継承する事業の成果も紹介します。

是非こちらの企画展にもお越しください。



濱口梧陵翁



安政閏録 古田咏処筆 養源寺蔵

広村出身で銚子(千葉県)で醤油醸造業を営む古田咏処が描きました。津波の様子のほか、梧陵による被災者救済や復興の様子、全国の地震津波の被害状況を記した「大日本邦全図」なども収録されています。

【夏休み企画展「生誕200年記念 稲むらの火 濱口梧陵」の開催について】

- 会 期 令和2年7月18日(土)～8月23日(日)
- 開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 入 館 料 一般280円(230円)、大学生170円(140円) ()内は20人以上の団体料金
高校生以下、65歳以上の高齢者、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料
- 休 館 日 月曜日(ただし、8月10日は開館し、翌11日は休館)
- 展示資料総数 55件77点(うち和歌山県指定文化財1件1点、広川町指定有形文化財1件1点)
- 問い合わせ 県立博物館学芸課 主任学芸員 前田正明(電話073-436-8684)

●ジオパークセンター7月の催物



7月27日で開設1周年を迎えます
パークガイドツアーやジオパークセンターでのワークショップ、研究員とのトークイベントを予定しています。

南紀熊野ジオパークセンターでは、7月の催し物として、「潮岬を歩く子供向けジオツアー」と「ジオパークセンターでのワークショップ」を開催します。

8月には南紀熊野ジオパークが日本ジオパークに認定されて6周年を迎えるため、記念イベントとして8月22日から30日の9日間、ジオパーク内各地域でのジオ

【潮岬を歩く子供向けジオツアー】

ジオパークガイド、センター研究員による解説を聞きながら、ジオパークセンターを見学した後、歩いて潮岬のジオサイトなどを巡ります。潮岬でみられる火山活動の痕跡や潮岬の大地が昔、海の中にあった痕跡を見ることができます。

- 日 時：7月25日(土) 10時～11時30分(小雨決行)
- 26日(日) 10時～11時30分(小雨決行)

当日のコース

ジオパークセンター ⇒ 潮岬灯台下の浜 ⇒ 潮御崎神社 ⇒ 旭之森



潮御崎神社の石垣は潮岬灯台下の浜にある「枕状溶岩」を使っています



旭之森からは本州最南端の綺麗な景色が見られます

(つづきあり)

集合場所：南紀熊野ジオパークセンター

対 象：小学生以上（小学生は保護者同伴） **参加費**：無料

定 員：小学生以上10人（+保護者）、定員に達し次第締め切ります。

服 装：歩きやすい格好と靴 **持 物**：帽子、マスク（屋内で着用）、飲み物を持参してください。

申 込 先：南紀熊野ジオパークセンター（TEL：0735-67-7100）

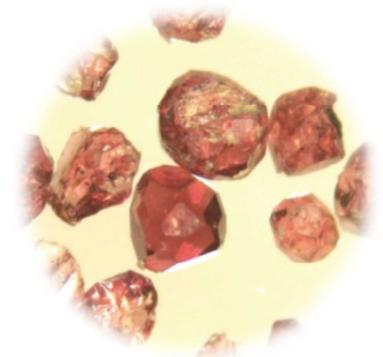
【ジオパークセンターでのワークショップ】

南紀熊野ジオパークエリア内のものを使った、以下の3つのワークショップを行います。事前の予約は不要で、開催時間中、誰でも体験することができます。

日 時：7月25日（土）、26日（日） 13時～15時

会 場：南紀熊野ジオパークセンター展示室、実習室

- ① 砂を使った地質図をつくってみよう
（本物の砂を地図に張り付けて、地質図作りを体験します。）
- ② 川の砂からガーネットを探してみよう
（砂からガーネットを探し出して、顕微鏡で観察します。）
- ③ 海岸漂着物でつくってみよう
（海岸に流れついているものを使って風鈴や楽器をつくります。）



ガーネット

参加費：無料 **定 員**：材料がなくなり次第、終了します。

持 物：屋内で行うため、マスクを持参してください。

問い合わせ先：南紀熊野ジオパークセンター 担当：福村・本郷

TEL：0735-67-7100

是非皆さん、南紀熊野ジオパークの大自然の中で、コロナ禍で疲れた心身を癒やしてみたいかがでしょうか。

●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

また、今年度から「新型コロナウイルス感染症対策」、「子供たちの教育環境の充実」、「犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援」の3つを寄附メニューに追加しました。(次頁参照)

御寄附につきましては、郵送や振込みで行うことができますが、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」ではクレジット決済に加え、今年度よりキャッシュレス決済を御利用いただくことができます。申出から決済までを同時に行うことが可能です。ぜひ御利用ください。

また、和歌山県外にお住まいの方で1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品(プレミアム和歌山)として県が認定した商品の中から、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。

昨年度から返礼品の拡充を行い、寄附金額の価格に応じて返礼品を選んでいただけるようになりました。和歌山県が誇る優良産品(プレミアム和歌山)を是非御堪能ください。

また、返礼品とは別に、2千円以上の御寄附をいただいた御希望の方に「和歌山ファンクラブ」(和歌山県観光連盟所管)への入会権を贈呈しています。御入会いただくと、刊行情報誌「紀州浪漫」の送付など、魅力ある特典がございます。お申込みはふるさとチョイスからお願いします。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載していますので、是非御覧ください。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。



○寄附金控除のしくみ(例)

寄附金10,000円の場合		
所得税 約800円	住民税 約7,200円	適用下限額 約2,000円
← 控除額合計約8,000円 →		

全額控除される寄附金額の目安

自己負担額2,000円を超える金額が全額控除される寄附金額の目安は下の表のとおりです。
【注意】下の表はあくまでも目安としてお考えください。

単身者の場合		夫婦、子2人の場合	
給与収入	寄附金額目安	給与収入	寄附金額目安
300万円	28,000円	300万円	—
400万円	42,000円	400万円	12,000円
500万円	61,000円	500万円	28,000円
600万円	77,000円	600万円	43,000円
700万円	108,000円	700万円	66,000円
800万円	129,000円	800万円	85,000円
900万円	151,000円	900万円	119,000円
1,000万円	176,000円	1,000万円	144,000円
1,500万円	389,000円	1,500万円	361,000円
2,000万円	564,000円	2,000万円	536,000円

「ふるさと和歌山応援寄附」を活用して行う県の取組

お寄せいただいた寄附金を「ふるさと和歌山応援寄附金」として、次の取組に活用させていただきます。

1. 生涯スポーツ・文化の振興

全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。

- ・ワールドマスターズゲームズ2021関西
 - ・国民文化祭
 - ・全国障害者芸術・文化祭
 - ・全国高等学校総合文化祭
- 各大会等の開催に向けた準備をすすめます。



8. わかやまの美しい海づくり

黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとを海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。

- ・片男波海水浴場
 - ・加太海水浴場
 - ・浜の宮海水浴場
- などの砂浜の整地をすすめます。



2. 南紀熊野ジオパークの推進

令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。

- ・南紀熊野ジオパークセンターの展示の充実をすすめます。



9. わかやまの文化財の保護

和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところ。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。

- ・湯浅の歴史的なまちなみの修理・修景を支援します。
- ・有田市・浄教寺の十六羅漢像の保存修理をすすめます。



3. がん対策の充実

和歌山はがんで亡くなる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。

- ・所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。
- ・がん治療前に、精子や卵子等を温存することで、希望を持ってがん治療に取り組むことができるよう支援します。



10. 大切なふるさとの森を守り育てる

和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や渇水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえない森林を守り育て、継承していきます。

- ・和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。



4. 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援

和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。

- ・理系の大学生・大学院生を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円支援します。



11. わかやまのナショナル・トラスト

和歌山は、みどり豊かな山々と雄大なリアス式海岸など、かけがえない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。

- ・県民の公有財産として未長く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。



5. 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援

和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。

- ・これまでの活動で約2,500匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約1,100匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。



12. 子供たちの教育環境の充実

お礼の品なし

各学校において、「学習環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。

母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。



6. 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用

和歌山の世界遺産をかけがえないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。

- ・参詣道の維持管理・パトロールを行います。
- ・世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。



13. 新型コロナウイルス感染症対策

お礼の品なし

新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。



7. 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実

和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。

- ・県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。
- ・県立図書館の蔵書の充実をすすめます。



※ 充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」の
URL・QRコードはこちらです。

URL : <https://www.furusato-tax.jp/city/product/30000>



「ふるさと和歌山応援サイト」のURL・QRコードはこちらです。

URL : <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>



**** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては ****

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 工藤、宮本

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 宮本

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

自然・風物情報(7月上旬～8月下旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
7月上旬	大賀ハス開花	上富田町・田中神社	大賀ハス保存会 0739-47-0550
		有田市・箕川	有田市産業振興課 0737-83-1111
7月上旬	ハマユウ見頃	和歌山市・番所庭園	番所庭園 073-444-6533
		白浜町・白良浜	白浜町観光課 0739-43-6588
7月上旬	ハマボウ開花	御坊市・日高川河口南部	御坊市商工振興課 0738-23-5531
		那智勝浦町・ゆかし湯	那智勝浦町観光産業課 0735-52-0555
7月中旬	サンゴの産卵	串本町・ 串本海中公園センター他	串本海中公園センター 0735-62-1122
7月中旬	ボウズハゼの滝登り	古座川町・滝ノ拝	古座川町産業建設課 0735-72-0180
7月中旬	真夏のあじさい満開	かつらぎ町・ 花園あじさい園	花園あじさい園 0737-26-0888
7月下旬	梅の天日干しはじまる	みなべ町各地	J A 紀州みなべいなみ梅 部会 0739-72-1174
8月上旬	ぶどう狩りオープン	有田川町・有田巨峰村	有田川町商工観光課 0737-52-2111
		田辺市・紀南観光ブドウ園	紀南観光ブドウ園 0739-24-2305
8月上旬	サルスベリ咲く	田辺市・新庄総合公園	田辺市管理課 0739-26-9966
		白浜町・吉祥寺	吉祥寺 0739-54-0043
8月中旬	梨狩りオープン	かつらぎ町内農園	かつらぎ町観光協会 0736-22-0300
8月下旬	イチジク出荷最盛期	紀の川市	J A 紀の里農産物流通セン ター 0736-73-7200



滝ノ拝で遊ぶ
(南紀熊野ジオパーク推進協議会提供)

～編集後記～

梅雨に入り長雨が続く中、各地で梅雨前線の停滞に伴う豪雨により大きな被害が出ています。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。また、皆さんにおかれても大雨による土砂災害や河川の増水には十分ご注意ください。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、皆さんも最近まで外出を控えておられたと思います。そうした中、新たな魅力を発信する集客施設がまた一つ完成しました。

県内には水産物直売所がいくつか所在していますが、この度、有田市の箕島漁港に漁業振興施設「浜のうたせ」が新たに完成しました。売り場には港から水揚げされたばかりの太刀魚、イサギ、鯛などの鮮魚や水産物加工品に加え、有田地方特産のみかんなどの農産物も並べられていました。また、フードコートが併設され、特産の足赤海老、太刀魚を使った天井やカレーライスなども提供されていて、買い物だけでなく、現地ならではの食材を食べることもできます。今後、有田地方の魅力を発信する拠点となることが期待されています。皆さんも是非一度お立ち寄りください。

「浜のうたせ」ホームページ <https://hamano-utase.com/>

私もこちらで太刀魚を購入し、美味しく食べたのですが、子供の頃、我が家では太刀魚、鯷、鯖などの大衆魚が良く食卓に上り、正直、子供心にあまり嬉しくなく、カレーライスやとんかつなどの方が嬉しく思いました。ところが、最近は郷愁なのか、年齢なのかマグロや鯛などはもちろん、子供の頃によく食べていたこうした魚も美味しく感じられ、好んで食べるようになりました。これも和歌山では新鮮な魚が身近で手に入れられるからかもしれません。皆さんも「蘇りの地、わかやま」に美味しいものを食べにいらしてください。

知事室秘書課長 中松 則夫

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので是非御覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/O10500/furusato/>

2020年(令和2年) 7月 No.147

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。

